

わかさ 議会だより

緑と清流のまち

第189号
令和7年
2月号
WAKASA TOWN

若き起業家

Roaster (ロースター)
ひとしずく
コーヒー焙煎士
むらお えつこ
村尾 悦子さん



議会事務局のアドレスへ



P2~3 令和6年度 一般会計補正予算
P4~5 審議結果・討論
P6~9 一般質問
P10~15 常任委員会報告(抜粋)

P16~17 議員座談会報告
P18 議員研修報告
P19 議会からのお知らせ
P20 わたしの想い(吉田さん)

活応援を！

第6回

12月定例会

(令和6年12月10日～12日)

企画政策課

若桜鉄道対策事業 250万円



12系客車

DL、客車を活用し、本線運行を行うためには、初期費用が高額であることが見込まれる。また、維持管理費についても相当額が必要になることが想定される。これらを踏まえ、運行可否の判断材料となる試算について、明確な数値を算出する必要があると考え、コンサルタントへ委託を行うもの。

**DL・12系客車
は観光列車化
できるのか!?**

観光客増大へ！

令和6年度 一般会計補正 予算(第5号)

**1億1655万円
追加し**

総額

47億2929万円

補正項目は一部の掲載となっています。

経済産業課

観光事業費 90万円



モニターツアーのようす

町内の観光資源のより魅力化と新たな旅行商品の造成を目的に、近畿大学と連携したモニターツアーを実施するもの。

「物価高騰」

生

令和6年第7回若桜町議会臨時会

(令和6年12月23日)

令和6年度一般会計補正予算(第6号)

福祉保健課

住民税非課税世帯給付金事業
1666万円



特に、物価高騰の影響を受ける住民税非課税世帯に対し、給付金を支給することにより、低所得世帯への生活支援を行うもの。
○一世帯当たり3万円

5379万円追加

総額

47億8308万円

生活支援を！

引き続き
支援を！

福祉保健課

物価高騰に係る生活困窮世帯支援事業
16万円



物価高騰が継続している状況を踏まえ、その影響が特に大きいと考えられる生活困窮者に対し生活支援として、灯油代を含む光熱費の助成を行うもの。
○一世帯当たり5千円



原案に対して 賛否の分かれた議案

第7回議会臨時会

12月23日

「○」賛成、「×」反対
「議」議長（採決は議長を除く）

補正予算

氏 名	谷口 貴	森田 二郎	梶原 明	山本 安雄	山本 晴隆	川上 守	中尾 理明	小林 誠	山根 政彦	結 果
令和6年度若桜町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	×	○	○	×	○	議	可決

原案賛成 小林 誠

人事院勧告に基づいての、特別職の期末手当の引き上げと職員の給与改定であり、人事院勧告を尊重し予算を認め、賛成します。

※特別職

町長、副町長、教育長の3役

原案反対 中尾理明

昨年、期末手当が0.1か月分引き上げられた。今回も0.05か月分相当の予算が組まれている。期末手当は、労働の対価ではなく、物価高騰で大変な暮らしを余儀なくされている町民の気持ちを考え、予算に反対します。

原案反対 山本安雄

現在、実質賃金は-2.5%と言われており、住民税非課税世帯や生活保護受給世帯など生活困窮世帯へ生活支援する予算が計上されている。この時期の人事院勧告による※特別職期末手当総額17万2千円増額は、町民理解を得るのが難しい。よって、予算に反対します。

条例

氏 名	谷口 貴	森田 二郎	梶原 明	山本 安雄	山本 晴隆	川上 守	中尾 理明	小林 誠	山根 政彦	結 果
若桜町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	議	可決

原案反対 山本安雄

住民税非課税世帯給付金事業の対象世帯はわが町世帯の約3分の1の約500世帯です。この時期の、人事院勧告による、「特別職の期末手当の月数を0.05か月引上げ」は、わが町に当てはまらないと思います。この条例改正に反対します。

※1 収益的収入及び支出とは

サービスの提供の対価としての料金を主体とする収益が計上され、収益的支出には、サービス提供に関する職員関係費、物件費、動力費、支払利息等の諸経費のように現金が企業外部に流出する支出のほか、建物、機械、構築物等の固定資産の減価償却費のように支出を伴わない費用も計上される。

※2 資本的収入及び支出とは

その効果が次年度以降に及ぶもの、つまり、住民に対するサービスの提供を維持すると共に、将来の利用度の増加に対処して、経営規模の拡大を図るために要する諸施設の整備、拡充等の建設改良費や、現有施設に要した企業債の元金償還金等が計上され、資本的収入には、建設改良に要する資金としての企業債収入などが計上される。

一目でわかる 審議結果

第6回議会定例会 12月10日～12日

専決処分	令和6年度若桜町一般会計補正予算（第4号） 520万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ46億1274万円とする。	承認
	鳥取県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議 規約を変更することに関し協議することについて、議会の議決を求めるもの。	承認
補正予算	令和6年度若桜町一般会計補正予算（第5号） 1億1655万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ47億2929万円とする。	可決
	令和6年度若桜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） 23万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ4億7224万円とする。	可決
	令和6年度若桜町介護保険事業特別会計補正予算（第3号） 2万円を減額し、歳入歳出予算をそれぞれ7億786万円とする。	可決
	令和6年度若桜町簡易水道事業会計補正予算（第3号） 487万円を追加し、 ^{*1} 収益的収入及び支出の予定額をそれぞれ1億5214万円に補正するもの。 229万円を追加し、 ^{*2} 資本的収入1億8236万円及び支出2億3935万円に予定額を補正するもの。	可決
	令和6年度若桜町下水道事業会計補正予算（第3号） 171万円を追加し、収益的収入2億4738万円及び支出2億3683万円に予定額を補正するもの。	可決
条例	若桜町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正 過疎地域の持続的発展の支援に関する省令が改正されたことに伴い、課税免除対象となる固定資産の取得時期の延長について所要の改正を行うもの。	可決
	若桜町包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に係る人員等に関する基準を定める条例の一部改正 職員に係る基準及び当該職員の員数について包括支援センター運営協議会が認めるときは、常勤換算方法によることができる規定を追加するもの。	可決
	若桜町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正 町営住宅の払下げ事業に伴い、番地の変更を行うもの。	可決
	若桜町ふるさと応援寄付条例の一部改正 条文の「寄付」を「寄附」に変更する。文化や芸術について学ぶ機会の充実に活用できるよう、「文化や芸術に関する事業」を追加するもの。	可決
	若桜町表彰条例の一部改正 表彰対象に関する規定及び、条例内容等を改正するもの。	可決
その他	鳥取県町村総合事務組合規約の変更 共同処理する事務として、学校医等の公務上の災害に対する補償に関する事務を加えるもの。	可決

第7回議会臨時会 12月23日

補正予算	令和6年度若桜町一般会計補正予算（第6号） 5379万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ47億8308万円とする。	可決
	令和6年度若桜町介護保険事業特別会計補正予算（第4号） 増減なしとし、歳入歳出予算をそれぞれ7億786万円とする。	可決
	令和6年度若桜町簡易水道事業会計補正予算（第4号） 89万円を追加し、収益的収入及び支出の予定額をそれぞれ1億5303万円に補正するもの。	可決
条例	若桜町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正 特別職の国家公務員の給与が改正されることに伴い、所要の改正を行うもの。	可決
	若桜町職員の給与に関する条例の一部改正 令和6年人事院勧告に準じて、所要の改正を行うもの。	可決

質問議員 ページ	質問事項
森田 二郎 P. 7	① マスタープラン
	② 部活動の地域移行
	③ 移住定住施策
梶原 明 P. 8	① 移動投票所
	② デマンド便定額運賃
中尾 理明 P. 9	① 現行の若桜町公共交通計画に関する諸課題
	② PFAS町内簡水調査と関連事項



本 会 議 場

- ・各一般質問の主な内容を各議員が要約して掲載しています。
- ・一般質問の全ての内容については、スマホ、タブレット等でQRコードを読み込むと、ご視聴になれます。

一般質問とは

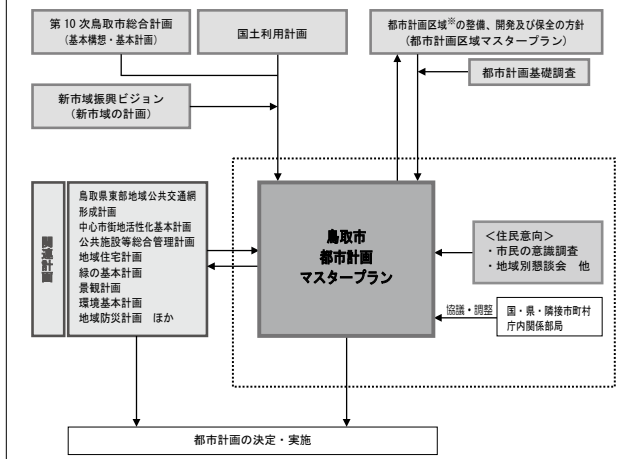
議員が町の行財政全般、住民生活に密接していることに対して、執行状況または将来の方針、政策的提言や行政の課題などを町長や執行機関に直接質すことです。

一般質問

町政を問う

都市計画マスタープランの位置づけ事例（鳥取市）

「鳥取市都市計画マスタープラン」は、「第10次鳥取市総合計画」などの上位計画に即して定めるもので、上位計画の改定や社会情勢の変化などにより、必要に応じて見直しを行います。



鳥取市都市計画マスタープランの位置づけ図

資料提供：鳥取市都市整備部都市計画課

Q 第10次総合計画や第2期総合戦略との関わりも含め、関わる範囲・期間、作成終了の時期、町政への位置づけについて伺います。

A （町長） ※都市計画法第18条の2の規定に基づいて策定をする、概ね20年、30年くらいの中長期的な計画です。市町村自らが定める、都市計画



森田二郎

マスタープラン

A 駅周辺を中心に令和7年度策定予定

Q マスタープランの範囲位置づけは

に関する基本的な方針や将来像を示す総合的な指針として人口減少や少子高齢化社会の中でも、健康的で文化的な町民生活の確保や機能的な都市構造の維持を目指すものです。総合計画や総合戦略等との整合・調整を図り、県の都市計画区域のマスタープランに即して策定をする必要があります。本町の総合計画の計画期間は令和8年度まで、総合戦略の計画期間は令和7年度までとなっていますが、令和7年度～8年度にかけて次期総合計画と次期総合戦略、マスタープランの策定を並

Q どのような方が策定にあたるのか伺います。

A （町長） 専門家、あるいは町内の各種関係団体、町民の意見を検討して、それを集約して定めていくイメージは持っています。

Q マスタープランに持たせたい役割は何か、伺います。

A （町長） 都市計画法上の位置づけの中で進めていくので、都市計画区域の若桜地区内の整備が基本になります。駅の周辺整備、重伝建のにぎわいづくり、中之島公園のリニューアルも含

Q 県の都市計画区域マスタープランにある、氷ノ山岳レジャーや農産物開発等は含まないのか伺います。

A （町長） 主に中心。氷ノ山方面や池田の活性化は、総合計画、あるいは総合戦略の中で策定を考えています。

Q 県の都市計画区域マスタープランにある、氷ノ山岳レジャーや農産物開発等は含まないのか伺います。

A （町長） 主に中心。氷ノ山方面や池田の活性化は、総合計画、あるいは総合戦略の中で策定を考えています。

※「都市計画法」都市の健全な発展と秩序ある整備を図るための土地利用、都市施設の整備及び市街地開発事業に関する計画を定める法律。



若桜駅周辺



梶原 明



移動投票所

移動投票所の導入を

選挙管理委員会で検討

Q 近年、選挙投票率の低下が見受けられます。町民の投票機会の拡充や確保のために、移動投票所の導入を検討すべきと考えます。町長としての考えを伺います。

A (町長) 移動投票所の開設や投票所のバス運行など、新たな投票率向上に向けた取組について、選挙管理委員会でも議論はされていると伺っています。投票率について

では、全国的、県内におきましても低下傾向が見られます。本町の投票率は、各選挙ともに県内平均投票率を大きく上回っており、県内では、トップレベルの投票率を保っている状況です。

一方では、高齢化の進展により、投票所に行くのが大変だという声は、私も出前町長室で直接伺ったこともあります。65歳以上は、若い世代と比較して主権者意識が高いとされる年齢層ですが、投票率が低下傾向であり、将来的に投票しやすい環境づくりは、検討課題となると考えています。

す。

移動投票所の導入については、投票所までの移動に苦労される高齢者等の投票機会の確保や利便性の向上等のメリットがある反面、新たに投票所を設けることになるので、機器の整備も必要になります。それ以上に、投票管理者や立会人の確保や事務従事者の配置など、コストもかかることも指摘をされています。このような状況も踏まえて、選挙管理委員会において十分検討いただければと考えています。

デマンド便定額運賃

検討されたのか

A 公共交通計画を策定する中で

Q 令和6年6月定例会で、デマンド便の定額運賃の設



デマンド便

定について提案をしました。その後、検討はされたのかお尋ねします。

A (町長) 定額料金を設定すれば、利用料金を気にせず、利用料金を自由に移動することが可能になるため、移動手段のない方等の外出のきっかけになると思いますので、前向きに検討しています。

いと考えています。現在、庁内で議論を進めていますが、定額運賃のみならず、町内のほかの公共交通の手段と比べて料金が高いのではないかとという声もいただいております。料金体系の見直しも含め、利用しやすい環境づくりについても、公共交通計画を策定する中で検討を進めたいと考えています。

いと考えています。現在、庁内で議論を進めていますが、定額運賃のみならず、町内のほかの公共交通の手段と比べて料金が高いのではないかとという声もいただいております。料金体系の見直しも含め、利用しやすい環境づくりについても、公共交通計画を策定する中で検討を進めたいと考えています。



移動期日前投票所のようす (南部町)



わかさデマンド便

Q 来年度中には、通学にバスが必要な全ての子どもたちのために、スクールバス運行が目指されています。

まず、次期公共交通計画の重点目標として、デマンド便一本化によるドア・ツー・ドア型運行を目指すことがで



中尾理明

公共交通問題

A 定時便、デマンド便の
其々の優劣を考えて計画

Q 次期計画でのデマンド便
一本化はできないか

きないものでしょうか。

A (町長) 令和4年度末、諸鹿線廃止と同時に、翌年度からデマンド便1台を増車し、2台体制としました。定時便の利用者が年々減少する一方、デマンド便の利用者は増加しています。利用者のニーズはデマンド便に傾いていると考えていますが、デマンド便は、ドア・ツー・ドアで便利な一方、料金が定時便より高い、増車すれば、ドライバーの不足などの検討が必要です。また、定時便は運賃が安く、デマンド便が混雑し、使

えない時も計画的に利用できます。両者には、メリット・デメリット、課題があるので、よく考えながら次期計画について、議論をしていきたいと思っています。

Q デマンド便は、距離により運賃が異なり、町営バス2路線と共助交通は100円で相違がありません。これをどう考えられますか。

A (町長) 町民の利便性向上、若桜に來られる観光客への対応、町の財政負担などを考えた、公平な料金体系が求められています。次期公共交通計画では、自助努力をされている共助交通など、様々な条件を考慮した最適な体系を作る必要があると考えます。



共助交通 (らくらく号)

Q 諸鹿集落の議員座談会で、デマンド便になって、若桜まで出るのに400円、待ち時間15分100円加算され、定時便その他は、100円で不公平、改善してほしいと意見が出ました。かつて定時便の一路線であった諸鹿谷なので、せめて次期計画が

出来るまで、100円で運行できませんか。

A (町長) 座談会での地元の皆さんの声ということで、議員から話を聞きました。そこも含めて、公共交通計画策定の中で議論していきたいと思っています。

委員会報告（抜粋）

委員長 山本 晴隆
副委員長 谷口 貴

今後の 跡地利用は？

旧わかさ生協診療所跡地購入

総務課

説明

旧わかさ生協診療所の跡地を建物解体後に普通財産として取得しようと考えている。
主な利用目的は宿内で不足している観光用の駐車場を考えている。

意見

Q (小林) 解体に約2千数百万円掛かっていると思うが、約1400万円の金額に生協側は納得されているのか。

A 納得されている。

Q (谷口) 駐車場にすると、何台位が駐車出来るのか。

A 30～40台だと思っているが、マスタープランによって砕石か舗装にするかは決める。

Q (梶原) 駐車場利用者の想定は。

A 観光客用として考えている。

O (小林) マスタープランは10年、20年先の若桜町を描いて欲しい。

O (谷口) 10年、20年後の若桜町を担っていく30代、40代の方が中心になってマスタープランを作って欲しい。

常任委員会開催日

第14回 10月18日月例常任委員会

- ・専決予算
- ・[旧わかさ生協診療所跡地購入](#) P10参照
- ・岩屋堂バイパス
- ・リンピアいなばの余剰電力の活用
- ・[第2回グリーンスローモビリティ実証実験運行の結果と今後の予定](#) P11参照
- ・(株)鳥取銀行による小水力発電事業に関する提案
- ・[若桜町デジタル地域通貨導入](#) P11参照
- ・若桜町駅ビル改修工事(Sマート)
- ・「若桜町よくばりロマン紀行」デジタル旅スタンプラリーの実施
- ・「ルート29」の上映
- ・若桜町獣肉解体処理施設(わかさ29工房)の指定管理更新

第15回 11月8日月例常任委員会

- ・[DL・12系客車の改修計画等](#) P13参照
- ・[氷ノ山関連施設指定管理の管理状況](#) P12参照
- ・氷ノ山自然ふれあいの里の指定管理状況
- ・[道の駅 桜ん坊の指定管理状況](#) P15参照
- ・旧池田小学校の使用条件
- ・公有財産の売却

第16回 12月2日月例常任委員会

- ・12月定例会上程の議案
- ・[一般会計補正予算\(第5号\)](#) P14参照



旧わかさ生協診療所跡地

○意見の標記

Q : 質問・質疑 A : 回答

O : 意見

総務産業教育民生常任

第2回グリーンスローモビリティ実証実験運行の結果と今後の予定

企画政策課

|説明

人口減少が急速に進み、交通に関する多様なニーズへの対応が求められています。地域住民の日常生活における交通を担う新たな移動手段として、環境に優しく低速で安全な「グリスロ」活用の可能性を検証するため、第2回目の実証試験運行を実施した。※乗車運賃 無料

まちなかルート (20日間) 481名 (24.05名/日)
鬼ヶ城ルート (19日間) 141名 (7.42名/日)

|意見

Q (谷口) 実証実験は地域住民の日常生活における交通を担う移動手段なので、アンケートも町民と町外でわけるとは思いませんか。

A 町内外での資料は作成していません。

Q (中尾) 議員座談会で、グリスロと跨線橋を結びつけている町民がいた。

A セットではない。別々に考えて欲しい。

O (小林) 鳥取自動車に年間4,000万円位使っているが、町民は満足していない。

O (山根) 跨線橋計画に、障がい者のことも考えて欲しいという意見がある。

住民の
移動手段を確保

若桜町デジタル地域通貨導入

企画政策課

|説明

地域内での消費が増える。
行政から自治体、住民や企業向けの支援がスムーズに行え、ポイントに期限をつけることにより、消費を促す。行政から即時一斉にポイントを付与出来る。

令和7年度中のサービス開始、地域内での活用と、定着を優先する。

|意見

Q (梶原) 町民に対して、1枚配布なのか。

A 町内に住所がある方、全員に一斉送付を目指している。

Q (梶原) チャージは何処で出来るのか。

A 大きなスーパーや医療機関など、人の集まる場所が良いと考えている。

Q (谷口) 若桜独自の面白い機能とかは考えていないのか。

A そこまで検討が進んでいない。

Q (川上) 診察券と一体に出来ると説明を受けたが、どういう使い方なのか。

A 保険証はマイナンバーカードで、診察券はカードで行い、支払いも出来る。



グリスロ実証実験のようす

町内消費を
促す

委員会報告（抜粋）

氷ノ山の 集客に期待!!



わかさ氷ノ山スキー場開きのようす

氷ノ山関連施設指定管理の管理状況

経済産業課

意見

- Q** (委員長) 10月24日に行った議員座談会で、スキー場の営業時間が毎日午前9時から午後4時までということがSNSに投稿されているという話があった。直ぐに担当課長に連絡をしたが、そのような相談は受けていないとの事だが。
- A** 料金改定と営業時間変更の承認申請が出され、10月25日付けで、条件付きで承認した。条件は、料金改定等にかかわる利用者の混乱を避けるため、あらゆる機会をとらえて周知、広報に努めること。利用者の満足度を高めるサービス向上に努めること。
- Q** (山根) リフト料金についての考え方が違う。昨シーズンまでは1日券4千円を平日に50%割引で販売していた。平日1日券の2千円が3千円に値上がりしたように勘違いされかねない。
- A** 分かりやすくしたつもりの資料が、誤解を生みかねない物になってしまって、申し訳ありません。
- Q** (梶原) スキー場の公式LINEを友達追加すると500円割引になる。クーポンは、1回だけなのか。
- A** シーズン中は何度でも割引対象。
- Q** (小林) スキー場の営業をあてにした事業を展開されている関係者に説明はしたのか。
- A** していない。影響を受ける事業者の説明をすべきだった。
- Q** (委員長) 10月25日の承認前にはSNSで営業時間の短縮の事が掲載されていたが、良いのか。
- A** 決済されていない段階で情報が流れたのは、リフト管理組合の情報管理がずさんだった。反省を促さないといけない。
- Q** (委員長) スキー場で働いている方の労働時間に関わってくるので、事前に説明すべきではなかったのか。
- A** 町としては業者組合に説明してくださいと伝え、11月1日に行った。
- Q** (山根) 指定管理者が実行委員会から抜けるということ聞いたが、200万円のTバーリフトやマウンテンバイクも買っているが、活用もされていない。スキー場のグリーンシーズンの活用はどのように考えているのか。また、来シーズンに向けて、業者に話をしてください。地元でも不審がっている。
- A** 今後どのようにしていくのかの結論は出ていないが、引き続き、実行委員会のメンバーと協議していく。
- Q** (委員長) 昨年度から管理者が変わり町営スキー場付近の路面凍結が頻繁にみられ、衝突事故なども起きている。道路の除雪や消雪・凍結防止の管理も同じ業者の管理。対策を考えていないのか。
- A** その話は聞いていないので、再度確認する。

○意見の標記

Q : 質問・質疑 A : 回答

O : 意見

DL・12系客車の観光列車化は？

企画政策課

総務産業教育民生常任

DL・12系客車の改修計画等

説明

令和5年12月に、若桜鉄道SL等活用検討委員会よりDL観光列車化が提案され、実車調査を実施した結果、12系客車3両のうち1両の鋼体腐食が著しく、運用復帰出来ない可能性が指摘された。

意見

- Q (森田) 若桜鉄道SL等活用検討委員会に見て頂き、意見は聞かれたのか。
- A 今後は検討委員会に検討して頂くのではなく、若桜町と八頭町で協議することが先決だと考えている。
- Q (森田・川上) 走らせない場合の車両の活用方法は。
- A 客車を塗装する予算の確保は出来ているが、走らせない可能性があるため、ボランティアで塗装するのは非常に申し訳ない。職員などで補修を行い、何とか保存する方向で進めたい。
- Q (川上) 今後、車両更新や、跨線橋建設もあり、町民の賛同は得にくい。
- A 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業という国からの補助率は1/3であるが、おそらく1/3より、かなり低い額になると思う。
- Q (小林) 運用復帰出来ない客車を除いて、残った客車2両で運用しても採算が取れないと思う。
- A 鉄道本体としての収支は難しいと思うが、例えば駅弁だとか宿泊だとか、地域経済全体で黒字になるようなことが描ければ、多少お金がかかっても走らせたいという思いはある。
- Q (谷口) 観光列車のハード面ばかりにこだわっているが、ソフト面も考えているのか。
- A 車内で食事が出来るような形を取りたい。土日祝日臨時便で10時半頃出発し、50分程かけて郡家に到着し、折り返しで2時間弱のゆっくりと食事を楽しめるようなソフト面や、地元にお金を落としていく事を、検討していきたい。
- Q (谷口) 今ある列車でも観光列車化は出来ると思う。何故試験的にやってみないのか。
- A ダイヤ編成上厳しいこととDD16が国内で唯一、本線を走らせ観光客を呼び込む価値があると考えている。
- Q (梶原) 2016年にDD16を譲り受けた時にフルオーバーホールされてたと記憶している。12年経過で、エンジンがダメで載せ替える場合には新しい規格の物になるのか。
- A 今時点では載せ替えは必要無いと思うが、16～20年走らせる想定で、今のうちにやりたいと考えている。



DD16

委員会報告（抜粋）

一般会計補正予算(第5号) 若桜鉄道対策事業

企画政策課

説明

DL、客車を活用し、本線運行を行うためには、イニシャルコストが高額であることが見込まれる。また、ランニング費用についても相当額が必要になることが想定される。これらのことから、継続的な運行の可否、また、観光産業の起爆剤としての運行でもあるため、地域経済効果についても十分な精査を行ったうえで、総合的に判断していかなければならないと考える。八頭町にも運行にあたり協力依頼を行っているところであり、概ね同様の問題提起をされている。

これらを踏まえ、判断材料となる明確な数値を算出する必要があると考えており、コンサルタントへ委託を行うこととしたい。

意見

- Q** (小林) 観光列車のコンサルタント費用の250万円の考え方は、マスタープランを含めた試算なのか。
- A** マスタープランは作成出来ていないので、現状での試算。
- Q** (小林) 町長も議員の任期も残り1年あまり、駅周辺の遊休施設を活用したようなマスタープランを作ってはどうか。
- A** どのような補助金が活用出来るかなどを考えながら作っていく。策定期間は1年半から2年位と思うが出来る事から進めたい。
- Q** (川上) 八東駅のすれ違い線を作った経緯は、SL運行の計画。その後は観光列車を走らせる方針になり、今回はDLと12系列車を走らせる経済効果の試算で、観光客が増えるかどうか不安。
- A** 以前、ランニングコストを試算したのが10年以上前なので、八頭町と協議をする前に、現在のデータを明確にして、地域全体の経済的波及効果も含めて試算する。
- Q** (山本安) 試算結果は今年度内に出来て、そのデータをマスタープランに適応するのか。
- A** 年度内に出るようお願いするが、確定ではない。どのようなマスタープランを作るかによって適応出来るかわからないが、可能なかぎり反映したい。
- Q** (谷口) 初期投資を考えると、試算しても、良い結果は得られないように思う。
- A** 初期投資を抑える事も含めた試算をしてもらおう。良い結果でなければ、走らせない。
- Q** (谷口) コンサルタント会社は、採算がとれる提案などをしていただけるのか。
- A** 提案などは見積もりに入っていない。



若桜駅

観光列車経済効果の試算は？

○意見の標記

Q : 質問・質疑 A : 回答

O : 意見

道の駅、地域との連携は!?

総務産業教育民生常任

道の駅 若桜「桜ん坊」の指定管理状況

経済産業課

説明

選考委員会で提案した主な計画の状況を報告。現時点で実施出来ていないものがあった。

意見

Q (小林) 選考委員さんは経営状況等の把握はされているのか。

A 昨年度の2月に状況説明をした。今年度は出来ていない。1年間の状況が見えた時点で行う予定。

Q (小林) 指定管理者は施設の管理をするだけなのか。地域貢献はしなくて良いのか。生産者のために行う気持ちを感じない。

A 担当者との意見交換を随時行い、こちらの要望は伝えている。

Q (谷口) 指定管理料を約340万円から935万円に増加した理由が、地域の活性化並びに地域経済の好循環を生み出す拠点としての役割を果たすための必要な経費となっていると思うが、令和5年度は未実施になっており、増加した指定管理料を払う必要はあるのか。

A 協定を結び、金額も設定しているので基本的には支払う。

Q (梶原) 令和6年度12月までにイベント等を予定しているが、計画は出来ているのか。

A 実施予定の内容は聞いていない。

Q (谷口) 事業計画に「地元ファースト、地元の業者との連携」と書かれている。指定管理者の選定にも議会として可決している。計画通りに進めて頂きたい。

A しっかりと連携をして取り組んでいく必要があると改めて思う。



道の駅若桜「桜ん坊」

談会まとめ(抜粋)

に開かれた議会と町民参画の町政を目指し、10き行いました。この座談会では、議会活動の状況言などを直接伺い、本町議会の機能向上と、活力しました。

町政に対する提言書の提出へ

町民のご意見を踏まえて、議会改革調査特別委員会で議論を重ね、町長に提言いたしました。

【提言事項】

- 公共交通に関して、現在諸鹿谷をはじめとする地域での運賃格差が生じている。また、高齢化が進む集落にとっては、共助交通の取組も困難となっている。それらを考慮しながら、若桜町独自の公共交通の構築が必要と考える。
- グリーンスローモビリティは、2回の試験運行を行っているが、現時点での必要性が感じられない。本運行に向けては、目的をはっきりさせ、周遊規模等、またランニングコストなどを考慮し、十分に協議が必要と考える。
- 駅周辺のマスタープランの策定については、地方創生の大きな核となり、人口減少の歯止めに大きな役割を果たすプランとなることを望むが、そのプランには多様な考えが反映され、早期に策定されることを望む。



提言書の提出

総 評

各議員の活動や議会の活動を、広く町民の方に理解して頂くために座談会を開催しておりますが、資料の内容の改善や説明の仕方、そしてもっと多くの町民の方々に参加して頂けるような座談会の運営方法を議会内で協議が必要と感じさせられました。また、それぞれの議員の政策立案能力を高め、町民の福祉向上のため、議員活動や議会活動に邁進していく必要があると思います。

令和6年度 議員座

令和6年度第13回議員座談会は、町民の皆様月7日から10月31日まで、議員が各集落に出向報告や、議会活動に対する意見や町政に対する提案ある豊かな地域づくりに資するため開催いたし

議会に対する意見

- 座談会の資料は、重要だと思われる議会の活動と、その成果や課題を具体的に書かれたものでないといわかりづらい。
- 年4回の議会定例会で一般質問をする議員の人数も内容も限られていて寂しい。もっと多くの議員が質問をし、政策につなげ活性化してほしい。また教育行政（社会教育）への質問がほしい。それらが地域活性化につながると思う。
- 町民が豊かになるような提言を一般質問等でしてほしい。全く質問しない議員もいる。決まった議員だけでなくもっと多くの議員が一般質問をするべきで議員の義務だと思う。
- 少数意見、若者や子どもたちの意見を町政に届け活かしてほしい。
- 議員個々が自分の考えをしっかりと持って意見を言えるように、議員の教育を議長にすすめてほしい。



議員座談会のようす

町に対する意見

- 跨線橋を含め、箱物ばかりを作っても人口減少の歯止めにつながらないと思う。維持管理費がかさむだけだと思う。
- 人口減少が進む中、今後の地方創生をどのようにすすめるのか示してほしい。
- 公共交通の地域によって料金の不公平感を感じる。改善を進めて頂きたい。
- 池田地区全体で利用できる共助交通をお願いしたい。
- 地場産業の確保や町内に就職先がないのは人口減少の原因の一つだと思う。町執行部や議会には将来を見据えた協議を進めて頂きたい。
- 乳幼児の保育を頼みたいが、保育士不足で受け入れが難しいようなので、保育士の採用をお願いしたい。

議員研修報告

令和6年度鳥取県町村議会議員研修会

令和6年11月25日(月)、三朝町総合文化ホールに県内の町村議会議員が集まり、参議院法制局長・慶應義塾大学大学院法務研究科客員教授の川崎政司氏による講演「町村議会の論理と作法ーその基礎から学び、考えるー」と、地域公共交通プロデューサー・国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター教授・滋賀大学データサイエンス学部 特別招聘教授の太田雅幸氏による講演「地域公共交通充実とは人口減少・少子化を防ぐ定番処方である」を拝聴し、研修を行いました。



令和6年度 若桜町議会人権学習議員研修会

令和6年11月15日(金)、毎年行っている人権学習議員研修を行いました。

本年も雇用分野に改正障害者雇用促進法が、また、雇用以外の分野に関して障害者差別解消法がそれぞれ改正され、事業者・事業主に対して、障がい者に対する「不当な差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の提供義務」が定められました。今回は、これを受けて、動画「気づいて一歩ふみだすための人権シリーズ『お互いの本当が伝わる時～障がい者～』」で職場での具体例を視聴しながら、「障害があるなしに関わらず、皆で共生していくためには、どうすればいいのか」を研修しました。

議会からのお知らせ

町政などに対して意見や要望があるときは

町政などへの要望等を直接書面で提出できる制度として、請願・陳情があります。

提出された請願・陳情は議長が議会運営委員会に諮り、常任委員会に付託するか否かを決定します。「常任委員会の審議になじまない」と判断されたものについては付託しない場合もあります。審査後は本会議で採否を決め、採択されれば、行政に活かされるよう町長または関係機関に審議結果を送付し願意の実現を求めます。

一般質問はインターネット中継でご覧いただけます

定例会の本会議で行う一般質問は、「生中継」と「録画動画」がご覧いただけます。一般質問の開催日時は、IP告知端末などで事前にお知らせします。若桜町ホームページ上にアクセスしてご覧ください。

録画放送は [若桜町議会録画放送](#)   でご覧ください。

令和7年度 第1回若桜町議会定例会(3月議会)日程(案)

会 期	令和7年3月11日(火)～3月21日(金)		
日 程	令和7年3月11日(火)	全員協議会・本会議 予算審査特別委員会	
		12日(水) 本会議・予算審査特別委員会	
	13日(木)～14日(金)・17日(月)	予算審査特別委員会	
		18日(火) 予算審査特別委員会・常任委員会	
	19日(水)	全員協議会・本会議	一般質問
	21日(金)	全員協議会・本会議	

わたしの思い

このコーナーでは、令和6年3月に高校を卒業され、それぞれの旅立ちを迎えられた皆さんからのご要望や率直な意見、若桜への想いを紹介させていただきます。



「若桜への思い」

よしだちさき
吉田千紗姫さん（吉川）

私は4月から鳥取の大学に入り、吉川の自宅から通学しています。毎日たくさんの刺激を受け、あっという間に1年が終わろうとしています。この1年はたくさんの人と出会い、新たな交友関係が広がるなかで改めて若桜の魅力を感じることができた年でした。私は若桜の自然がとっても大好きです。きれいな川が流れ、山々に囲まれ、四季折々の自然の美しさ、季節の移り変わる様子を肌で感じられることは、若桜の魅力の1つだと思います。春になれば友達と駅や中之島公園でお花見をし、夏になれば家の前の川に入っ
て遊び、秋になれば紅葉に囲まれた若桜で秋のおいしい食べ物をもりもり食べ、冬は毎年きれいな雪景色に感動します。また、人と人とのつながりが深いことも若桜の魅力だと思います。若桜ではすれ違う人同士が誰でもあいさつし合ったり、買い物途中で話が弾んだり、近所同士でお裾分けし合ったりなど、いたるところで人と人とのあったかい
つながりを感じることが出来ます。私はすごく疲れていたり、何か落ち込むことがあ
たりしても、若桜のきれいな自然を感じたり、若桜の友達や地域の方と話したりすると
心が落ち着き、また頑張ろうという前向きな気持ちになることができます。少子高齢化
や人口減少などの難しい課題に直面している中でも、町内に住んでいる人はもちろん、
町外に住んでいる人にとっても帰ってきたくなるような町、帰ってきた人が元気をもら
える町であることが大切だと思います。若桜の魅力、若桜でしか感じられない雰囲気
が残り続け、いつまでも私たちが誇りに思える町であり続けて欲しいと願っています。そ
のために、私が若桜のために何ができるのかを考えていきたいです。

意見・写真をお寄せください メール gikaidayori@town.wakasa.tottori.jp

QRコード



あとがき

今期の議会だよりになっ
てから、内容を大きく見直
し、より見やすい内容とし
てきました。特に、予算関
係や一般質問、常任委員会
の構成については、いくど
も変更を行ってまいりまし
たが、いかがでしたか。今
回特に、全員協議会の協議
をして、常任委員会での質
疑に対し、質問者の氏名を
記載することとなりました。
常任委員会のやり取りをよ
り深く表現したものです。

今後も、広報研修会の指
摘や、他町の議会だよりを
参考にしながら発行に努め
てまいります。

（記 川上 守）



議会だより調査特別委員会

委員長 森田 二郎

副委員長 谷口 貴

委員 川上 守

委員 梶原 明

議長 山根 政彦